

本学では、自治体との連携事業にも積極的に取り組んでおりますが、なによりも地域のさまざまな民間の団体、企業、住民の方々と力を合わせて、その地域で課題となっていること、やってみたい挑戦などに協力、協働しております。そのことにより、学生の皆さんの長所を活かし、能力、エネルギーなどを発揮していくことができます。以下に、諸活動をトピックスとして例示してみます。



あつぎ郷土博物館との協働授業
市民も一緒に受講



発想を大切に組み立て作業/みんなでごあいさつ
ヒューマンアカデミー大倉山保育園に協力



学生・市民参加の普通救命講習会



サイエンスツアー



KAIT広場にて地域の方々に参加しての「光の展覧会」



eスポーツ公開講座の開催

新任紹介



地域連携・貢献センター
山本 吾子

神奈川県川崎市で勤務を離れてから14年の歳月を経て地域連携・貢献センター長に偶然再会し、あれよあれよという間にセンターで働くこととなりました。これまで経験したどの仕事とも違う多彩な業務内容にまだまだ右往左往していますが、イベントなどで大学へ来て下さる地域の方々の笑顔や温かいコメントは

大変嬉しく、とても励みになっています。

連携とは手を取りあって一緒にやっていく双方向のエネルギーだと思います。微力ではありますが、皆さんと共に厚木に貢献できればと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

KAIT TOWNに移転してから、小・中学生を対象に科学体験「サイエンスサマー」、高齢者を対象に「フレイル予防セミナー」など大きな事業を実施し、また、地域の皆様には本学を知っていただく奔走していましたら、気づけば、前号発行から、なんと春・夏・秋と3つの季節が流れてしまいました。年間約130件の諸活動のごく一部しか紹介できず残念ですが、ともかくも、引き続き地域貢献に邁進してまいります。

今井 幸世

CONTENTS

- ▶ ご挨拶 P1
- ▶ 70周年を迎えた自治体との連携事業 P1
- ▶ 自治体との多様な協働事業 P2・3
- ▶ 最近のトピックス P4
- ▶ 新任職員紹介 P4

あいさつ

地域連携・貢献センター長
小川 喜道

地域連携・貢献は、今日の大学に与えられた使命でもあり、本学においても、地域に根差した存在

として住民の方々から期待されています。そこで、地域内の多様な団体、個人等との交流や産学官民等のフォーマルな事業の積み重ねが行われています。

今号では、主として自治体との連携事業を紹介させていただきます。

70周年を迎えた自治体との連携事業

本学では、地元である厚木市の市政70周年記念事業『あつぎで発見! ワクワクする未来~科学体験イベント』を開催致しました。また、隣接の愛川町市政70周年記念の事業の一環でもある、子どもと高齢者が一緒にeスポーツを楽しんでいただくイベントに協力して実施しました。愛川町からは小野澤豊町長、厚木市からは石塚修副市長が、それぞれのイベントに参加され、大学らしい科学実験やeスポーツなどを多世代の方々と楽しんでいました。こうした行政との共同プロジェクトを通じて、地域社会への大学の貢献が、親しみをもって広がることをこれからも期待しています。

また、厚木市委託事業「フレイル予防教室」令和7年度を受託しており、併せて、愛川町委託事業「生活習慣病予防教室」令和7年度も受託して事業を実施しております。

あつぎで発見! ワクワクする未来

厚木市
市政70周年
記念事業



近隣の川に生きる生物に触れる



厚木の歴史について答えてくれるAI体験

アニメーション
制作に集中



副市長とあゆころちゃん登場

愛川町
町政70周年
記念事業

eスポーツ交流会



eスポーツ(サンコロビンゴ)開始



勝者には町長より表彰



包括協定を締結している自治体などとの

協働事例紹介

協働事例
1

厚木市

厚木市役所の10部署とさまざまな連携事業を行っています。



折り紙LEDワークショップ

あつき協働大学での授業風景



LEDを使った作品づくり教室



ゲームイベント



小学校の校外学習
(手作り双眼鏡の作製)



寒川科学クラブ
(ニュートンのリンゴの木にて)



寒川科学クラブ



寒川科学クラブ(図書館をぐるっと見学)



寒川科学クラブ



スマホをもって厚木を歩こう
(フレイル予防、地形アプリ)



スマホのアプリのインストールを学生と一緒に

自治体との意見交換会

神奈川県域の災害対策について、産学官民が一堂に会しての開催(2025年12月4日、本学の市民・eスポーツホールにて)



協働事例
3

寒川町

長年にわたり、子どもたちの科学体験教室を行っており、町に出向いての体験授業を行ったり、子どもたちに来校していただいたりして、楽しい学びの場を毎年作っています。



厚木市の川から水を採取
(こども科学探検隊)



川の水質検査を学ぶ
(こども科学探検隊)



小学校の校外学習
(グランド脇でどんぐり拾い)



スマホは使わず、雨天のためモルックを楽しむ

協働事例
4

富士市

富士市とは、協定の中で連携・協力事項を、○次代を担う子ども及び若い世代への教育、○市の実施事業への協力、○地元企業と学生の交流、などを挙げており、それらを例年実践しております。



富士市発明工夫展で本学のサークルがデモ(KAIT EDTC)

協働事例
5

裾野市
沼津市

いずれも大学から離れている地域ですが、毎年、子どもたちを対象にプログラミング教室を継続して実施しています。地域や産業の振興、まちづくり等における科学技術の利活用や企業への就職、定住促進も期待されています。

大学のある隣町なので、行き来しやすいこともあり、いろいろなイベントを行っています。

協働事例
2

愛川町



愛川町健康フェスタ



愛川町古民家で制作

多くの自治体、公共機関との協働事業を展開しています

協働事例
6

神奈川県

福祉子ども未来局共生推進本部と「共生社会実践セミナー」、政策局のいのち・みらい戦略本部と「未病対策へのeスポーツ活用」、障害福祉課と「医療的ケア児への災害時支援」、地域福祉課と災害時の福祉用具の備蓄について、協力しています。



神奈川県の未病対策プログラムにeスポーツ検討

神奈川県の未病対策に協働



情報メディア学科 鈴木浩教授の協力

協働事例
7

県保健
福祉
事務所

難病患者の医療機器への停電時給電研修を3年間継続しています。



医療機器にポータブル電源から給電テスト



臨床工学科 山家特命教授による研修



県保健福祉事務所と研修打ち合わせ

かながわ医療的ケア児支援センター県央相談窓口と協働



医療的ケア児ご本人やご家族も参加